

科目名	プログラミング	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Computer Programming	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	たきもり たけし	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	瀧 森 威	修得単位	2単位
授業のテーマ	プログラミングの技術を習得する。		
授業概要	C言語を用いたプログラミングを習得する。アルゴリズムやプログラミングの技術を習得することで、コンピュータについての理解をより深めることができる。		
到達目標	C言語を通して、プログラミングの技術を習得し、プログラムを作成することができる。		
授業時間外の学習	言語の記述を正確に理解するため、簡単なプログラムでも構わないので、沢山作ってみることが大事です。また、論理思考が求められますので、自分のプログラムを作成するだけでなく、他の人が作成したプログラムを解読することにより、プログラミング能力がアップします。		
履修条件	コンピュータ入門、情報科学の単位を修得していることが望ましい。		
授業計画			
第1回	プログラミングとは、アルゴリズムとフローチャートの基礎と演習①		
第2回	アルゴリズムとフローチャートの基礎と演習② (基本記号、流れ図の基本形)		
第3回	アルゴリズムとフローチャートの基礎と演習③ (処理・判断記号の書き方)		
第4回	アルゴリズムとフローチャートの基礎と演習④ (プログラムフローチャート例)		
第5回	オブジェクト指向とは、重要な概念		
第6回	クラスとインスタンス		
第7回	データ型と演算子 (算術演算子、代入演算子、ビット演算子、論理演算子)		
第8回	データ型と演算子 (関係演算子、等価演算子、条件演算子)		
第9回	制御文の利用 (if~else 文、while 文、do~while 文)		
第10回	制御文の利用 (for 文)		
第11回	制御文の利用 (switch~case 文、break と continue 文)		
第12回	関数の利用① (標準関数)		
第13回	関数の利用② (便利な関数)		
第14回	配列とポインター		
第15回	第15回 総合演習		
第16回	第16回 試験		
テキスト	初級C言語 やさしいC 実教出版 (本体2,200円 税別) フローチャートはプリント		
参考文献・資料	講義中に適宜紹介します。		
成績評価の方法	試験 50%、演習課題 20%、実習課題 30%、総合的に判断します。出席回数が規定に満たない場合は試験をうけることができません。出席確認時不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		
オフィスアワー	毎週金曜日 10:40~12:10、13:00~14:30 これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。		

学生への
メッセージ

情報関連（プログラム開発等）の仕事に就きたい人、プログラムとは何かを学習した人にはお勧めです。プログラミングの講義は、積み重ね型になるので、欠席すると理解度が半減します。絶対欠席しないように。